

旧板橋第三小学校跡地施設整備構想・計画 中間のまとめ（案）

令和8年3月

目次

第1章 はじめに

- 1 経緯・計画策定の趣旨..... 3
- 2 計画の位置づけ..... 3

第2章 旧板橋第三小学校跡地の現状と課題

- 1 建物・敷地の状況..... 5
- 2 旧板橋第三小学校跡地周辺の状況..... 12
- 3 問題点及び課題の整理..... 13

第3章 旧板橋第三小学校活用方針

- 1 基本的な考え方..... 18
- 2 活用のコンセプト..... 18
- 3 課題解決の方向性／配置する機能..... 18
- 4 ゾーニング案..... 19

第4章 施設整備構想

- 1 基本理念..... 20

第5章 施設整備計画の検討状況

- 1 建物構造・機能..... 21
- 2 運営方針・運営体制..... 21
- 3 ゾーニング・動線の考え方..... 21
- 4 外構計画..... 21
- 5 政策的に整備・配慮すべき事項..... 21

第6章 設計・工事に向けた与条件の整理

- 1 事業手法..... 22
- 2 想定事業費..... 22
- 3 事業・工事スケジュール..... 22
- 4 跡地活用計画..... 22

第7章 住民・施設利用者意見まとめ

- 1 住民説明会の概要..... 23
- 2 施設利用者アンケート..... 25

※ 本資料については、整備構想・計画に関する中間まとめであり、検討の深度化に併せ、変更の可能性あります。

第1章 はじめに

1 経緯・計画策定の趣旨

- 旧板橋第三小学校（以下「旧板三小」）は、平成 14（2002）年 3 月末に閉校以降、旧校舎に改修を加えて用途転用し、公文書館・いたばし総合ボランティアセンターなどとして暫定利用しています。
- 跡地活用に際して、平成 30（2018）年度に「旧板橋第三小学校跡地活用基本構想」を策定し、第 1 期整備として旧校舎敷地東側に「子ども家庭総合支援センター」を新規整備し、開設以降の課題等を見据え、敷地西側を有効活用していく方針を示しました。
- 令和 3（2021）年 1 月に 1 年前倒しで策定した「いたばし No.1 実現プラン 2025」において、コロナ禍など社会環境の急激な変化を踏まえ、公共施設の新規工事着工を原則先送りの方針を示しました。このことから、集約・複合化にかかる方針決定については、令和 6（2024）年度以降としました。
- 令和 6（2024）年 1 月に策定した「いたばし No.1 実現プラン 2025 改訂版」に基づき、この間における社会環境の変化を踏まえつつ、次期基本計画を見据え、改めて旧板橋第四中学校（以下「旧板四中」）の跡地活用の検討と並行して旧板三小の検討を開始しました。
- このたび、旧板三小跡地施設整備構想・計画の策定に向けた中間のまとめを作成しました。引き続き様々なご意見を頂戴しながら、整備構想・計画の策定に向けて、検討を深めています。

2 計画の位置づけ

（1）行政計画における位置づけ

① 板橋区基本計画 2035

- 経費の縮減・平準化と併せて、時代の要請に対応し、今後進んでいくまちづくりなどとも連動しながら、安心・安全で魅力の創造につながる公共施設へ再編し、次世代へ引き継いでいくため、「公共施設の整備に関する基本方針」（以下「基本方針」）を明らかにしました。
- 基本方針では、（1）施設総量（総延床面積）の最適化（2）計画的な管理・保全による耐用年数の延伸（3）区有財産の有効活用（4）集約・複合化による多機能化と魅力ある公共施設への再編、4 つの方針を示しています。

② いたばし No.1 実現プラン 2028

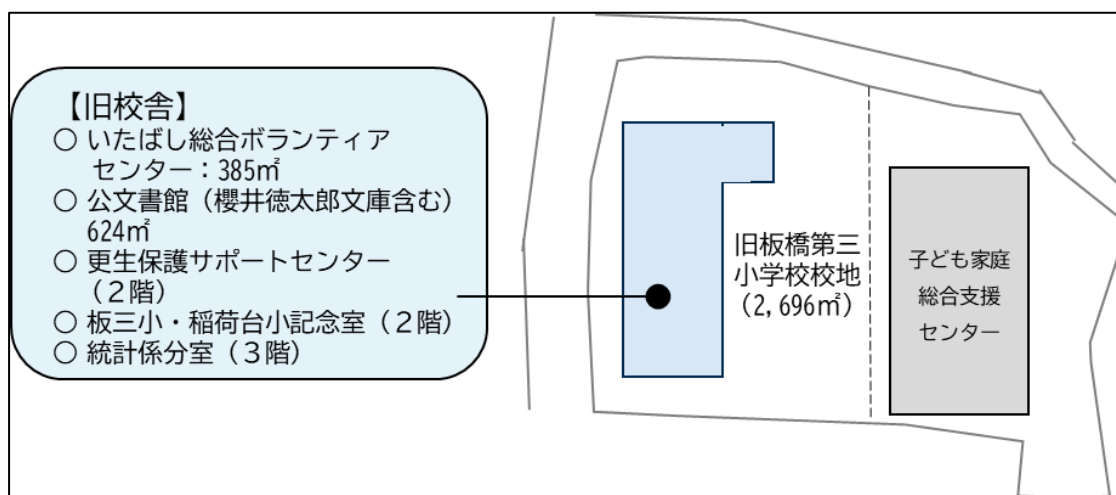
- 第 4 章「公共施設等ベースプラン」公共施設ファシリティマネジメントの推進において、「広く区政課題を解決しながら、持続可能な施設経営を行っていくとともに、多様な主体・多世代が相互に結び付き、『新たな価値の創造とコミュニティの醸成・活性化につながる居場所づくり』の視点も踏まえた、公共施設の実現に向けてファシリティマネジメントを推進」していく方向性を示しています。
- また、その他公共施設の再編において、同じ富士見地区の旧板四中跡地に関して「今後、まちづくりなどの動向なども踏まえながら、魅力や行政機能の向上に資する公共施設の検討を進めます」として、活用推進の方向性

が示されています。それに合わせ、旧板三小についても「効果的な整備に向けて、令和7（2025）年度に引き続き、施設の構想・計画の検討を進めます。」として示されています。

第2章 旧板橋第三小学校跡地の現状と課題

1 建物・敷地の状況

(1) 資産の現況



所在地	東京都板橋区本町 24- 1
敷地面積	2,696 m ²
建物面積	2,703 m ²
構造	RC 造、地上 3 階
築年数	昭和 34～41 年（築 59～66 年）
施設現況	いたばし総合ボランティアセンター、公文書館、更生保護サポートセンター、総務課統計係分室、旧板三小・稲荷台小記念室

(2) 各施設の基本情報

① いたばし総合ボランティアセンター

【施設概要】

所在地		東京都板橋区本町 24-1
施設規模		延床面積：397.04 ㎡（建物延床：2,703.27 ㎡）旧板橋第三小校舎
運営状況		開館時間：9:00-21:30 ※無休（年末年始・点検日除く。ただし。事務局は日・月休み） 運営者：地域振興課
諸室	1 階	事務室 68.22 ㎡、第1 ボランティア・NPO ルーム 68.22 ㎡ 第2 ボランティア・NPO ルーム 24.05 ㎡ 第3 ボランティア・NPO ルーム 22.80 ㎡ NPO サロン 68.22 ㎡
	3 階	第4・第5 ボランティア・NPO ルーム 133.92 ㎡
	他	交流広場・駐車場 約 1,100 ㎡、その他、倉庫等

【現況写真】

■事務室



○ボランティアセンターの事務局として利用されています。

○個人デスクと打合せスペースが配置されています。

■第1 ボランティア・NPOルーム



○ボランティア・市民活動・会議・講座等に利用されています。

■第2 ボランティア・NPOルーム



○ボランティア・市民活動・会議等に利用されています。

■第3 ボランティア・ NPOルーム



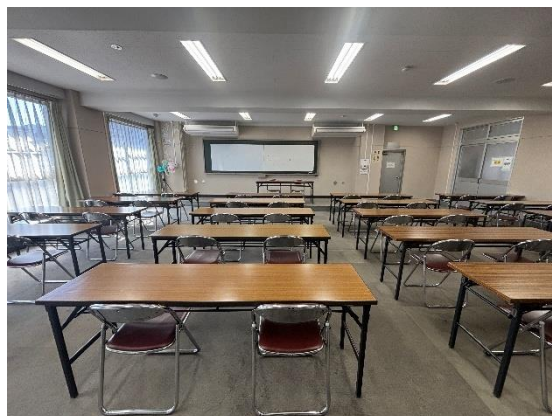
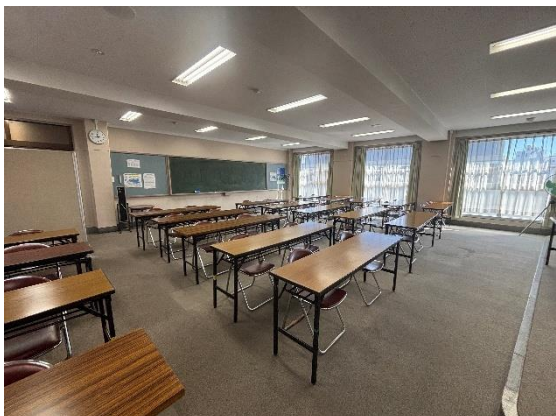
○ボランティア・市民活動・会議等に利用されています。

■ NPOサロン



○ボランティア・市民活動の準備・打合せ等に利用されています。

■第4 ボランティア・ NPOルーム



○ボランティア・市民活動・会議・講座等に利用されています。

■第5 ボランティア・NPOルーム



○第4 ボランティア・NPOルーム内にあり、同ルームと一体的な控室利用や、仕切られた空間を活かしたボランティア・市民活動・会議等に利用されています。

② 公文書館

【施設概要】

施設規模	延床面積：624.8 m ²
運営状況	開館時間：9:00-17:00 休館日：日曜日、月曜日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：総務部 区政情報課
諸室	事務室・閲覧室 107.74 m ² 、作業室 34.11 m ² 第1書庫（移管文書） 68.22 m ² 、第2書庫（刊行物等） 68.22 m ² 、 第3書庫（郷土史、地図等） 68.22 m ² 、櫻井徳太郎文庫等 278.29 m ²

【現況写真】

■事務室・閲覧室



○入口近くの閲覧室の奥は事務室として利用されています。

■書庫・櫻井徳太郎文庫



○各書庫には、資料保護のための除湿器が置かれています。

○櫻井徳太郎文庫には、櫻井氏の収集資料ほか、勲章など関連物品が展示されています。

③ 更生保護サポートセンター

【施設概要】

施設規模	施設面積：40.5 m ²
運営状況	開館時間：11:00-15:30 休館日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：板橋区保護司会
諸室	事務室

【現況写真】

■事務室



○保護司が常駐する事務スペースとして利用されています。

○面接時は隣接する板三小記念室を使用しているため、事務室と別に小個室設置の要望があります。

④ 総務課統計係分室

【施設概要】

施設規模	施設面積：64.8 m ²
運営状況	開館時間：9:00-17:00 休館日：日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：総務部総務課
諸室	作業室兼倉庫

【現況写真】



○統計調査の作業スペース・物品倉庫等に利用され、職員が常駐して使用するのは数か月から半年程度です。

⑤ 板三小・稲荷台小記念室

【施設概要】

施設規模	延床面積：93m ²
運営状況	開館時間：9:00-21:30 休館日：年末年始(12/29-1/3) 運営者：教育委員会事務局 新しい学校づくり課
諸室	記念室

【現況写真】



○記念品や肖像写真が展示されており、年間10名程度の来場者がいます。

○更生保護サポートセンターのスペース不足のため、会議や面談で利用されています。

(3) 敷地周辺状況

北側に東京都道 318 号環状 7 号線、西側に首都高速 5 号池袋線及び国道 17 号線が通っており、南側には石神井川が位置する立地です。



【旧板橋第三小学校 周辺状況図】



①敷地南西沿いの通り



②旧校舎の北側



③旧校舎の西側



④西側三叉路からみた首都高



⑤敷地南側に隣接する保育園



⑥南側の小路



⑦子ども家庭総合支援センター



⑧東側からみた交流広場



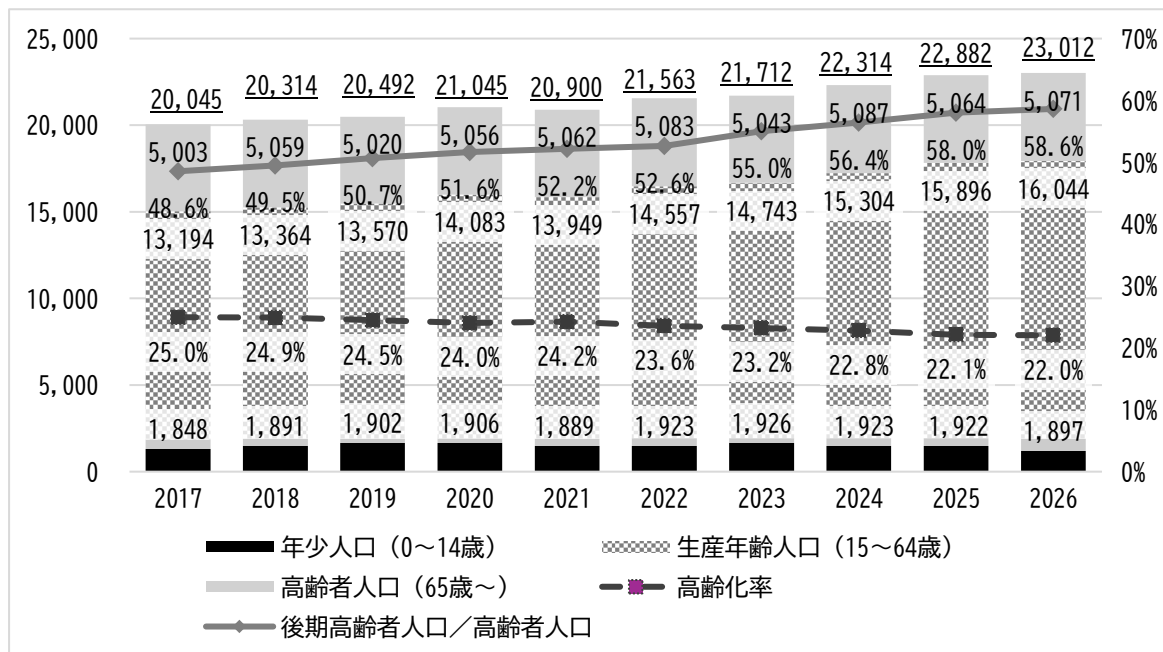
⑨北側交差点からみた旧校舎

2 旧板橋第三小学校跡地周辺の状況

(1) 富士見地区の人口推移 (H29～R8)

■人口構成の推移 (年少人口、生産年齢人口、高齢者人口)

- 富士見地区の総人口は、この10年で約3,000人増加しています。
- 生産年齢人口・高齢者人口は増加傾向です。一方で、年少人口は2023年をピークに減少傾向にあります。
- 高齢化率は、この10年間で3%減少していますが、後期高齢化率は約10%増加しています。



※1/1 現在の比較

3 問題点及び課題の整理

(1) 各施設の利用状況及び課題

■旧板橋第三小学校跡地

①いたばし総合ボランティアセンター

利用実績 等	○ ボランティア・NPO 登録団体は、無料で各室を利用可能。			
	【各室利用実績】			
			令和4年度	令和5年度
			令和6年度	
	第1ルーム	利用率	63.7%	66.9%
		利用人数	8,011人	8,259人
	第2ルーム	利用率	65.3%	70.3%
		利用人数	5,261人	5,885人
	第3ルーム	利用率	60.1%	66.5%
		利用人数	3,707人	3,942人
	第4ルーム	利用率	69.1%	71.3%
		利用人数	9,519人	9,311人
	第5ルーム	利用率	27.2%	33.3%
		利用人数	2,898人	4,006人
	※第5ルームは、第1～第4ルームの日中利用が多く飽和状態であったため、第4ルームを二つに分け、令和4年度途中に新設。			
	【その他実績】			
			令和4年度	令和5年度
			令和6年度	
	交流広場	貸出団体数	58団体	53団体
		利用人数	8,364人	8,492人
	NPO サロン	団体数	1,995団体	－
		利用人数	4,375人	3,561人

現状・課題	○ 「いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン 2030」を令和5年12月に策定し、課題は、以下のとおりです。 ➤ ビジョンに掲げる将来像を実現するための方策の一つとして、「活動拠点の充実」を掲げています。 ➤ 施設や設備の老朽化が激しく（雨漏り、机や椅子のガタつき等）、セキュリティも含め施設管理業務が負担となっています。 ➤ 日中利用が多く、貸室が飽和状態となる時があります。 ➤ 小豆沢体育館の災害ボランティア本部以外にも、災害ボランティアのサブ拠点としての空間の確保（物資の備蓄やボランティアの滞在スペース等）が課題となっています。
-------	--

②公文書館

利用実績等	利用実績				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	来館者数	866 人	778 人	801 人	
	閲覧・複写 申請数	1,948 点	1,953 点	1,223 点	
	有料コピー 枚数	2,611 枚	1,426 枚	2,407 枚	
	所蔵件数（令和6年度末時点）				
	項目		件数		
	公文書	移管整理済文書	45,854		
	刊行物等 行政資料	移管整理済行政資料	11,708	19,708	
民間企業・団体等資料		8,000			
いたばし 郷土史関係 資料	区内諸家・寺社等古文書 （複写物）	28,486	53,566		
	区外板橋区関連資料 （複写物）	17,956			
	学校教育関係資料	447			
	古文書（現物）	6,677			
自治体史	他自治体史書	2,058			
その他資料	写真資料	99,399	105,768		
	地図資料	946			
	その他（マイクロフィルム等）	5,423			
櫻井徳太郎 文庫	学術書	15,077	39,058		
	雑誌等	22,981			
	カセットテープ・ビデオ等	1,000			
		合計	267,011		
現状・課題	○ 公文書館は、公文書館法に基づき、区に関する公文書や刊行物等の歴史的に重要な資料を収集・保存し、広く区民の利用に供することを目的とした施設です。この目的を達成するため、資料のデジタル化やデジタル公開を進めていき				

	ますが、一度所蔵した資料を廃棄すること（または電子化したうえで原本を廃棄すること）は想定されていません。 ○ 今後の収容量については、移管公文書については、決裁文書電子化の進展に伴い、紙文書の移管ペースは鈍化していく見込みです。
--	---

③更生保護サポートセンター

利用実績等	○ 通常の開館時間に加え、年間約 50 回開催される各種会議のうち、月 1 回程度は土日祝日及び夜間等も利用しています。 ○ 現状で年間 100 回程度の面接利用については、夜間利用が約 8 割となっています。
現状・課題	○ 事務室には保護司が常駐し、相談や作業を行っています。資料等の保管場所も含め、現状と同等の面積を確保する必要があります。 ○ 面接時には施設共用の会議室（板三小記念室の一部）を使用していますが、プライバシー保護の観点から外から見えず音が漏れない壁で仕切られた、独立した面接スペースが必要です。 ○ 面接対象者の就労時間に配慮し、土日及び夜間の時間帯に面接を実施できる施設内に配置する必要があります。また、施設の検討にあたっては、面接対象者の出勤前である早朝の時間帯も利用可能な施設が望ましいです。 ○ 現状の更生保護サポートセンターは、東武東上線の駅から遠く、同線沿線の面接対象者・保護司が利用しにくいとため、東武東上線及び都営三田線の 2 路線利用が可能な利便性の高い立地が望ましいです。 ○ 会議やイベント準備等、複数の保護司が集まり物品の用意・搬出入作業などがあり、また公共交通機関から遠く仕事の合間に行う面接などで車を利用する保護司も複数いることから、駐車場の確保が必要です。 ○ 会議やイベント準備等で、共用の会議室（板三小記念室の一部）を使用しています。引き続き同等程度の会議スペース（共有も可能）が望ましいです。

④ 総務課統計係分室

利用実績等	○ 統計調査の作業スペース・物品倉庫等として利用しています。 ○ 職員が常駐して使用するのは数か月から半年程度です。 ○ 調査に応じて、会計年度任用職員を任用し、調査書類の審査等を行います。
現状・課題	○ 5 年毎に実施される国勢調査、経済センサス活動調査等については、分室では面積が不足するため、作業室を別に確

	保する必要があります。 ○ 毎回、作業室が変わるため、その都度調整の必要が生じるほか、環境整備の経費を毎回要しており、安定的に使用できる作業室の確保が課題です。
--	--

⑤ 旧板三小・稲荷台小記念室

利用実績等	○ 旧板三小・旧稲荷台小の記念品が展示されており、希望者は見学可能です。 ○ 年間 10 名程度の来場者がいます。
現状・課題	○ 地域や卒業生などの思い出が、未来へ継承できるような整理が必要です。

⑥ 交流広場

施設規模等	○ 旧板三小の校庭部分を活用（約 1,000 m²）
利用実績等	○ 優先利用・貸出等は実施していませんが、防災訓練や地域のお祭り会場、災害時の一時集合場所として、地域の皆様に活用いただいています。 ○ 夕焼けチャイムの時間まで地域の方が利用できるよう開放しています。
現状・課題	○ 地域からは、引き続き地域の行事等で使用できるよう要望があり、対応を検討する必要があります。

■周辺・関連公共施設

①本町集会所

施設規模	延床面積：72.93 m ²		
運営状況	開館時間：9:00-21:30 休館日：施設保守点検日、年末年始 運営者：区民文化部 地域振興課		
諸室	集会室		
利用実績等	【利用率】		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	28.4%	34.7%	35.0%
現状・課題	○ バリアフリー対応が求められる中、当集会所は民間建物のスペースを借用しているため機能拡充が困難です。 ○ 大雨の際に雨漏りや浸水等の被害が発生するなど老朽化が進行しており、対応が求められています。 ○ 地域からは、施設の老朽化及び駐輪場未設置の状況を考慮した新たな集会所の設置要望があり、対応を検討する必要があります。		

【現況写真】



○会議、懇親会、ダンスなどに利用。

② 公園・児童遊園

配置状況等	現在、富士見地区には都市公園 9 か所、準公園 1 か所が設置されています。
現状・課題	○ 富士見地区を含む「板橋・大山エリア」では、公園面積、緑被率が区内で最も小さいことから、商店街や住宅地、公共空間などの街並みと調和した身近なみどりやオープンスペースの整備が必要です。

(2) 跡地活用にかかる検討課題

(1) 各施設の利用状況及び課題を踏まえ、跡地施設整備計画で検討すべき重要課題を以下のとおり整理します。

■防災上の課題

- 旧板三小周辺地域は、狭あい道路が多く、狭小敷地と木造住宅が密集する市街地が形成されており、震災時の建物倒壊や火災の延焼、避難上の危険性が高く、防災上の課題解決に向けた取組を推進する必要があります。

■行政サービス継続にかかる課題

- 旧板四中跡地施設整備を含む、本庁舎周辺公共施設整備の検討を深度化させていく中で、仮移転等に伴う行政サービスの継続性を担保していく必要があります。

第3章 旧板橋第三小学校活用方針

1 基本的な考え方

平成 30 年度に策定した「旧板橋第三小学校跡地活用基本構想」の考え方を踏まえ、旧板四中跡地活用及び本庁舎周辺公共施設整備を見据え、資産の有効活用により魅力とサービス・機能向上を図る観点から、令和 8（2026）年度を始期とする板橋区基本計画 2035 に基づき、広く区政課題を解決するため、活用方針を策定しました。

- 都営三田線板橋本町駅から徒歩 5 分以内かつ旧中山道に隣接する好立地を活かし、有効活用を検討します。
- 学校跡地という大規模な敷地を有効に活用する視点から、既存施設の機能充実や周辺施設の老朽化などへ柔軟に対応していくことを念頭に、跡地の有効活用を検討します。
- 将来の行政需要及び富士見地区周辺における公共施設ファシリティマネジメントの必要性に鑑み、区が土地を保有し続け、施設整備にかかる構想・計画を策定します。整備する施設におけるサービス・機能の検討にあたっては、実施主体は区のみならず、民間との連携も視野に入れ、魅力の創造・サービスの向上を図ります。

2 活用のコンセプト

活用のコンセプトを 3 つ設定します。

① 地域の防災力を高める「広場・防災機能強化」

一時集合場所に位置付けられている現在の旧板三小にある広場機能を継続するとともに、地域防災機能の維持・継続を図るための防災備蓄倉庫を整備します。

② 誰もが気兼ねなく集える空間「コミュニティ空間整備」

本町集会所の機能移転を軸に、集会所機能の整備を検討します。また、緑を感じながら誰もが集い・気軽に休憩ができる広場空間を整備します。

③ 未来志向で柔軟に対応可能なしつらえ「将来需要への柔軟な対応」

旧板四中跡地施設整備を含む、本庁舎周辺の公共施設整備を円滑に進めるための受け皿を確保します。また、増加する要支援児童への対応強化として、子ども家庭総合支援センターを補完する機能を検討するとともに、将来需要へ柔軟に対応できるしつらえを検討します。

3 課題解決の方向性／配置する機能

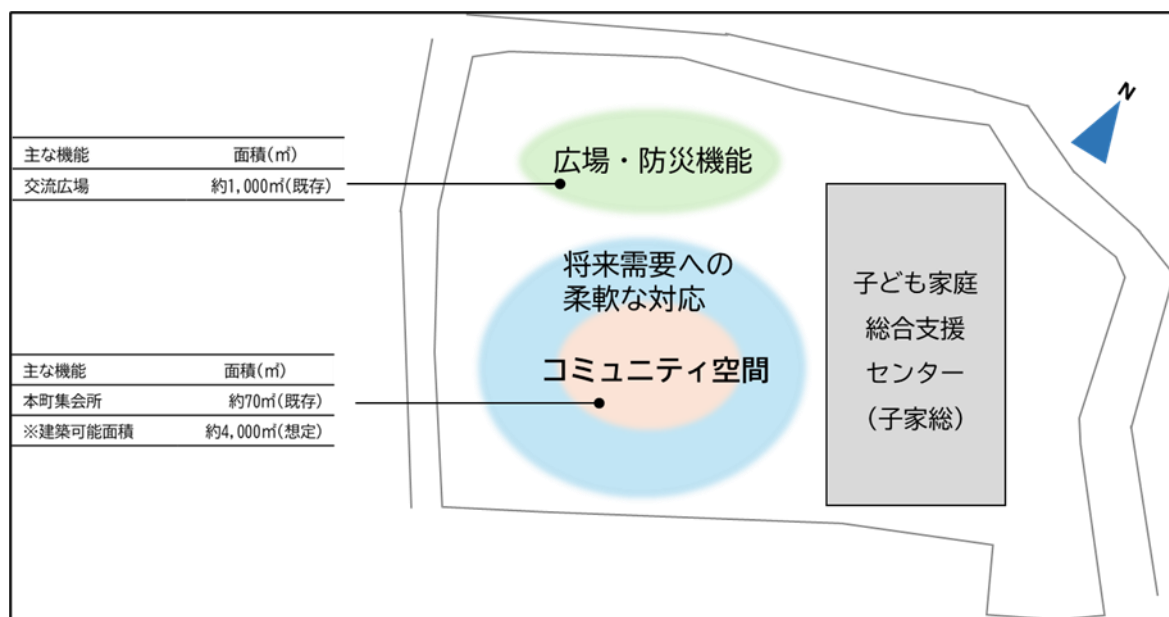
上記コンセプトなどを踏まえた、課題解決の方向性及び配置する機能は、以下のとおりです。

- ① 本町集会所の機能移転を軸に、誰もが利用しやすい集会所機能を整備し、地域交流・コミュニティ形成を促進します。
- ② 防災備蓄倉庫及び広場空間を整備し、地域の防災力向上を図ります。
- ③ 隣接する子ども家庭総合支援センターとの連携を含め、新たな行政需要へ対応するための機能を検討します。

- ④ 旧板四中跡地施設整備やグリーンホール及び本庁舎北館施設の再整備が円滑に進行するよう、仮移転を含め、既存機能を継続的に展開しうるオフィス機能を整備します。なお、仮移転する機能については、本庁舎周辺公共施設整備にあわせて検討を深度化します。
- ⑤ ④について一定の役割を終えた際に、民間活用なども可能なしつらえを検討します。また、旧板三小を暫定的に活用している公文書館や更生保護サポートセンターなどについては、並行して仮移転・本移転先を検討します。

4 ゾーニング案

3に示した配置する機能のゾーニング案は、以下のとおりです。なお、今後の検討により、変更する可能性があります。



第4章 施設整備構想

1 基本理念

(1) 基本理念の考え方

活用方針で整理した「広場・防災機能の強化」「コミュニティ空間整備」「将来需要への柔軟な対応」3つの視点を踏まえ、施設整備構想における基本理念を示します。

(2) 基本理念

広場・防災機能強化

- 一時集合場所に位置付けられている広場機能継続
- 地域防災機能の維持・継続をするための防災備蓄倉庫の整備



コミュニティ空間整備

- 本町集会所を移転を軸に、集会所機能を整備
- 緑を感じながら気軽に集い・休憩ができる広場空間の整備



将来需要への柔軟な対応

- 本庁舎周辺公共施設整備を円滑に進める受け皿
- 増加する要支援児童への対応強化として子家総を補完するほか、将来需要へ柔軟に対応



第5章 施設整備計画の検討状況

施設整備構想で定めた基本理念を具体化するため、以下の視点における検討事項を踏まえた施設整備計画を推進します。

1 建物構造・機能

(1) 検討事項

- 板橋区基本構想で示された9つのめざす姿「子ども・若者・子育て世代が住みたくなるまち」の実現に向けて、隣接する子ども家庭総合支援センターと連携した切れ目のない子育て支援の充実が図られるよう、検討を深度化する必要があります。
- 旧板四中を含めた本庁舎周辺公共施設整備にあわせて、既存機能が継続を前提に、円滑な仮移転計画を検討していく必要があります。
- 旧板三小を暫定活用している既存機能の仮移転先及び本移転先を検討していく必要があります。

機能	仮移転の方向性	本移転の方向性
いたばし総合ボランティアセンター	近隣での移転を検討	旧板四中跡地へ移転
公文書館		本庁舎周辺公共施設整備にあわせて移転先を検討
更生保護サポートセンター	検討中	
旧板三小・稲荷台小記念室	近隣での移転を検討中	

2 運営方針・運営体制

- 各施設間の連携や機能の共有など、複合施設のメリットを最大限活かした最適な運営計画を推進していきます。
- 広場空間については、既存の開放時間を基本とし、広く地域へ利活用できるよう検討を進めていきます。

3 ゾーニング・動線の考え方

現在検討中ですので、素案でお示ししていきます。

4 外構計画

「3 ゾーニング・動線の考え方」を踏まえ、素案でお示ししていきます。

5 政策的に整備・配慮すべき事項

現在検討中ですので、素案でお示ししていきます。

第6章 設計・工事に向けた与条件の整理

1 事業手法

建物構造・機能や施設配置案、管理運営計画を踏まえ、民間活力導入の可否を検討していきます。

2 想定事業費

建物構造・機能や施設配置案、管理運営計画を踏まえ、設計・工費費用を算出していきます。

3 事業・工事スケジュール

施設整備計画においては、本庁舎周辺公共施設の再編に合わせ、建物構造・機能や施設配置案、事業手法を踏まえ、最適な設計・工事スケジュールを設定していきます。

令和7年度	令和8年度	令和9年度～
整備構想・計画		設計・工事

4 跡地活用計画

本町集会所は、旧板三小へ移転したのち廃止します。

第7章 住民・施設利用者意見まとめ

1 住民説明会の概要

(1) 令和7（2025）年5月実施

■説明会の概要

	5/23(金) 19:00～20:00 富士見地域センター	5/24(土) 10:00～11:00 富士見地域センター	計
参加者	55 名	25 名	80 名

■主な意見

若者・地域交流拠点
○ 若者や高齢者も含めた多世代交流の場としての機能を整備してほしい。 ○ 若者や利用者の声をよく聞いたうえで、施設機能などの検討を進めてほしい。
多目的スポーツ広場
○ 多目的広場は、多様な活用ができるよう人工芝で整備してほしい。 ○ サッカー公式大会の利用が可能となる広さの整備をしてほしい。 ○ 土日にグラウンドを利用している少年野球チームの活動が継続できるよう配慮してほしい。
多様な学びの場
○ フレンドセンター機能と他施設との共存が可能となる整備をしてほしい。 ○ グラウンド部分について、フレンドセンター利用者と地域利用との共存が可能な管理体制を検討してほしい。
防災力の強化
○ 避難所としての環境改善及び給水ステーション設置等を検討してほしい。 ○ 体育館部分の避難所機能の継続や、多目的スポーツ広場と避難所機能の共存可能な整備をしてほしい。
その他
○ 桜の小径の保存及び地域行事が継続できるよう整備してほしい。 ○ 旧板三小跡地・大原生涯学習センター・CAP' S 富士見台児童館移転後の跡地活用方針を示してほしい。

(2) 令和7(2025)年11月実施

■説明会の概要

	11/28(金) 19:00~20:00 富士見地域センター	11/30(土) 14:00~15:30 大原生涯学習センター	計
参加者	28名	45名	73名

■主な意見

若者・地域交流拠点
○ 地域に住む外国人が、気軽にくらしの相談ができる機能を設けてほしい。
多目的スポーツ広場
○ 富士見地区には運動できる広場スペースが少ない。地域住民の運動量を補うことができる活用を望む。
○ 近隣の板八小の児童は、ボール遊びができるスペースを望んでいると聞いた。
○ 人工芝の管理や地域行事が継続できる配慮を求める。
多様な学びの場
○ フレンドセンター機能と他施設との共存が可能か疑問である。
その他
○ 環七からの騒音や、日影の影響に配慮してほしい。
○ 解体工事中のグラウンド部分の機能継続を希望する。
○ 校舎を解体する際には、卒業生などを招いたイベントを開催してほしい。
○ 桜の小径への影響を最小限にするよう配慮してほしい。
○ 旧板四中施設整備が完了するまでの間、可能な限り休館などが発生しないよう、切れ目のない移転を望む。
○ スペース・機能の縮小などを起因として、団体利用が困難にならないよう配慮してほしい。
○ 大原生涯学習センターの跡地活用方針が決定する前に、近隣住民の意見をよく聞いてほしい。
○ ボランティアセンター利用者の意見を聞く機会を設けてほしい。

2 施設利用者アンケート

(1) アンケートの概要

跡地活用を一緒に考えるため
みなさまの声をお聞かせください

全10問

回答時間
約
3
min

旧板橋第四中学校・旧板橋第三小学校
施設整備に関する施設利用者アンケート

板橋区では、旧板橋第四中学校跡地及び旧板橋第三小学校の跡地を活用した検討を進めています。検討に際し、下記の公共施設を複合化する計画を考えています。よりよい施設となるよう、普段から施設を利用している方へアンケートを実施します。

▼対象者
富士見地域センター、まなぼーと大原(i-youth含む)、富士見台児童館、いたばし総合ボランティアセンター等を利用している方

▼回答方法
スマートフォン等で二次元コードを読み取り、回答をお願いします。
※紙アンケートが必要な方は、施設管理者へお問い合わせください。
※1端末につき1回・1人1回の回答にご協力をお願いします。
※回答いただいた内容は個人情報の取り扱いに十分配慮し、今回の調査目的以外には使用しません。

▼問い合わせ先
板橋区政策企画課区有地活用担当係 03-3579-2013

アンケート期間
11月13日(木)
▼
12月12日(金)

回答用二次元コード



※下記URLからも
ご回答いただけます。
<https://forms.office.com/r/7WpD5bswHq>

板橋区
ITABASHI

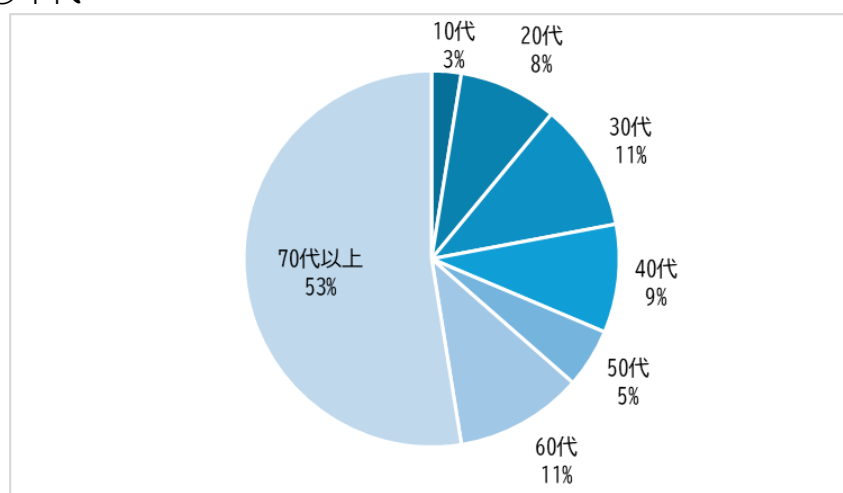
項目	内容
タイトル	旧板四中・旧板三小施設整備に関する施設利用者アンケート
対象	富士見地域センター、大原生涯学習センター、富士見台児童館、いたばし総合ボランティアセンター、本町集会所を利用している方
配付・回収方法	ポスター掲示・チラシ配付による WEB 回答及び書面回答
調査期間	令和7年11月13日(木)～12月12日(金)
回答数	118 件
調査票構成	1 利用について ☐ よく利用する施設を下記より選択してください。 ☐ この施設をどのくらい利用しますか？ ☐ 主な利用目的は何ですか？

項目	内容
	2 施設への評価 ○ この施設の良いところを教えてください。（自由記述） ○ 改善してほしい点がありますか？（自由記述） 3 今後に向けて ○ 旧板四中跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述） ○ 旧板三小跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述） ○ 上記学校跡地周辺の地域で課題だと思うこと、または良いところを教えてください。（自由記述） 4 回答者について ○ 年代・属性

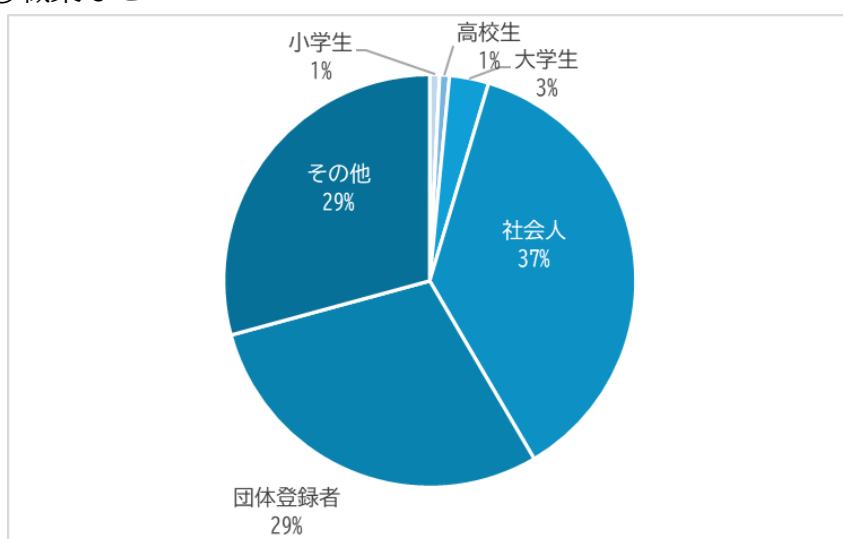
（２）アンケート結果分析

■回答者の属性

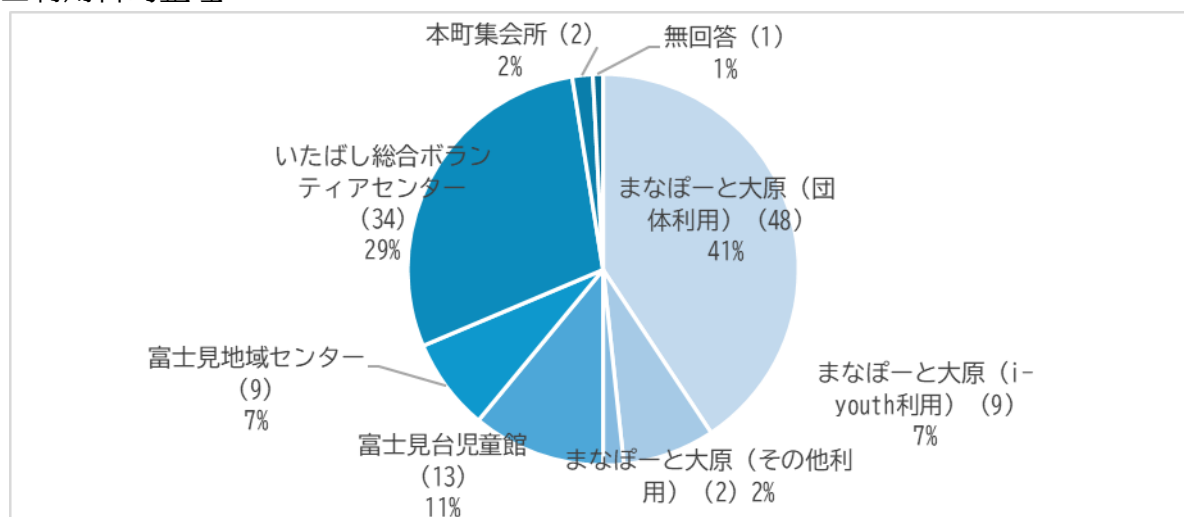
①年代



②職業など



■利用目的整理



(3) 自由記述欄意見整理 (旧板三小関連の回答のみ抜粋)

○ この施設の良いところを教えてください。(自由記述)

利用施設属性	意見の概要
いたばし総合ボランティアセンター	○ 利用料金がかからず、複数の部屋・備品が利用できる点が大魅力。 ○ 駐輪場やコピー機など、設備が整っている。 ○ 学習支援や多文化交流の拠点としても機能している。 ○ 無料の学習塾など、多様な支援活動が行われている。 ○ 受付の方が親切で相談しやすい。 ○ 会場や施設の利便性が高く、静かで落ち着いた環境。
本町集会所	○ 自宅近くで利用しやすく、自転車でのアクセスが便利。 ○ 地域活動の拠点になっている。

○ 改善してほしい点がありますか？(自由記述)

利用施設属性	意見の概要
いたばし総合ボランティアセンター	○ 防災機能の充実や、わかりやすい表示を希望する。 ○ 飲食可能スペースの設置やカフェなど軽食施設があるとよい。 ○ 展示室の利用効率化や移設を希望する。 ○ 建物・設備の老朽化対策が必要。 ○ 洋式トイレの増設やウォシュレット機能の設置を希望する。 ○ Wi-Fi の全館常設・強化を求める。 ○ 設備備品の充実、電子機器を更新してほしい。 ○ 教室数やキャパシティ増加、予約システムの利便性向上を望む。 ○ 駐輪場へ屋根を設置し、駐輪の列を整理してほしい。
本町集会所	○ 自転車置き場が不足しており、整理整頓が必要。 ○ 利用時の交通手段や、アクセスに不安がある。

■今後に向けて回答

○ 旧板三小跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述）

分類	主要要望・意見の概要
広場・防災機能強化	○ 防災機能向上に資する防災拠点が整備されるとよい。 ○ 災害時の避難場所となる防災広場を整備してほしい。 ○ 防災広場をみんなで憩える広場とし、自己責任で遊ぶプレイパークや、豊島キッズパークのようなスペースになるとよい。 ○ バーベキューやフットサルなどのスポーツができるとよい。
コミュニティ・居場所空間整備	○ 集会所や集会室機能があるといいため、本町集会所の移転を求める。 ○ 図書館や学童、保育園を整備してほしい。 ○ 子どもが自由に遊べる遊び場空間があるとよい。 ○ みんなで憩えるスペースや休憩スペースがあるとよい。 ○ 老若男女気軽に立ち寄れる場所になるとよい。 ○ 大学生でも使いやすい学習スペースや鏡付きのダンススタジオ、音楽交流ができるスペースがあるとよい。
フレキシビリティ確保	○ 区民が無料で利用できるスペースがあるとよい。
その他	○ 気軽に飲食できるとよい。 ○ 公文書館機能を活かし、民俗学、農業、産業など区の文化を発信する拠点としての機能を充実させてほしい。 ○ 現状のボランティアセンター機能の継続を求める。

○ 上記学校跡地周辺の地域で課題だと思うこと、または良いところを教えてください。（自由記述）

良いところ	○ 静かな地域/落ち着いた環境 ○ 治安が良い ○ 公園が隣接している ○ 「板橋」が近い ○ 場所が知られてなじみがある ○ 地域のお祭り、町会の催し、地域の少年野球チーム、消防団の練習・大会実施等に利用されており、地域のか場として利用されている
課題	○ マンションが多くなって地域の繋がりが希薄になってきた/町会に入っていない ○ 食事をするところが少ない ○ 少子化問題、出生率向上が必要 ○ 高齢化が進んでいる ○ 外国人が増えている ○ 騒音対策、枯れ葉対策が必要 ○ 小さい子どもが遊べる公園が少ない ○ 旧板橋第三小学校は昔の学校然としているので入口または外観を優しくしてほしい

	○ 旧板三小跡地周辺地域にはふれあい館のような施設がない ○ 新しいマンションが増えて、学校が足りなくなるのではないかと心配 ○ 交通機関から少し遠い ○ 自転車で利用の場合、自転車の置き場がない ○ 四中、三小学校どちらにしても大原を利用しているものにしては遠くなるので巡回バスを出してほしい ○ 施設の周知が不足している
その他	○ もともと学校ができるくらいであるから、本質的には人が集まるところ。安易に宅地などに転用せず、公共の場として維持しようとしているのは良い ○ 「縁切り榎」に来る人がとても増えているので、その方たちに板橋をアピールできるようにしたら良い ○ 会員が高齢なので駅近の場所が良い ○ ダンスをするので鏡があると嬉しい ○ 騒音問題を解決できれば、なんとかかなりそう